

アメリカ Douglas MacArthur High School 白崎愛理さん

留学期間 R 6.7～R 7.6 (1 年間)

1 留学の成果

私が留学を通して身に着けたことは、語学力向上はもちろん、それに加えて、自立心と適応力です。今まで、支えてくれる家族がそばにいたが、留学に行ったことで頼れる人がいませんでした。そのなかで、多くの困難に直面しましたがそれらを自分で何とかしようと考え、実際に行動に移したことで解決することができました。何事にも自分で挑戦し、その過程で直面する困難を自分自身で乗り越えていったことで確実に自立心を養うことができました。また、自立心が身についていくとともに、多様な問題にも立ち向かえる適応力も身につけました。いつ何が起こるか分からない状況で冷静に物事を判断し、焦らず柔軟にトラブルに対応することができました。また、留学中には周りの人とのコミュニケーションを大切にしていました。留学生ということもあり、様々な人から話しかけられ、受け身な状態になりがちでしたが、そうではなく、自分からいろいろな人に話しかけ、留学生として異文化に触れることを意識していました。積極的になったことで、受け身になっていたなら知ることができなかったであろう文化や価値観を知ることができました。異文化や新しい価値観を知っていくうちに日本の文化と日本人の考え方が全く違う部分があることを知り、興味を示すようになっていました。全く違う文化や価値観を持つ人と一年間一緒に過ごすことで今まで当たり前と思っていたことが相対的であると改めて感じることができ、多様な価値観や文化を尊重する姿勢が育ちました。

学業面では、初めのころは語学の壁に苦労し、専門用語などがでてくるとなをいっているか分かりませんでした。さらに、バスケットボールクラブに所属していたこともあり、なかなか勉強の時間を十分に確保することができませんでした。だからと言って、どちらか片方をおろそかにしたのではなく、両方とも全力で頑張り、空いている時間を勉強にあてるなど、時間を効率よく使う力をやしました。

この一年間の留学を通して、自立心、適応力、異文化を理解する力、時間の使い方など様々なことを学びました。しかし、一番身についたと感じること、そしてまなんだことは、すべてのことをグローバルに見ることです。日本にいたら見ることがないであろう海外のニュースなどを目にするが多くなり、自分事として考えることができるようになりました。

2 履修状況、課外活動等

(1) 履修科目

- Statistic
- Student council
- Journalism
- Anatomy and Physiology
- Basketball
- English

- ・ U.S. History

(2) 課外活動および受賞歴等

- ・ All district Honorable mention(basketball)
- ・ Academic all district

3 今後の活動予定

今後の活動予定として、留学で培った多様性についての理解力を用いて、多くの国、地域の研究をし、コミュニティーを広げていきたいと思う。また、将来は国際交流を支援、または提供する企業の経営者になりたいと考えています。したがって、進路は国際社会についてより深く学べるところかつ、良い支援を提供するために必要な経営の知識を学べるところに進みたいと思っている。

4 ふるさと納税寄付者へのメッセージ

この度は、私が小さいころから夢見ていた留学の支援をしていただきありがとうございました。夢をかなえることができ、また、約一年間のつらい日々を乗り越え、目標としていた、語学力の向上、人として成長することができて幸せな気持ちでいっぱいです。支援があってこそその留学ですし、支援が無ければこのような貴重な経験をすることができなかったと思います。本当にありがとうございました。

5 記録写真



私の 18 歳の誕生日を友達と祝った時の写真です。仲のいい友達グループの全員が揃って誕生日パーティーが出来たのでとても嬉しかったです。



バスケのプレイオフの試合で勝って嬉しい時の写真です。毎日辛い練習をして、必死に頑張った後の試合で勝てた時の達成感は半端ないです。



同じ地域にいた留学生と遊んだ時に撮った写真です。同じ留学生として色々な話が出来たのでとても楽しかったです。